

新中期経営計画「SINKA 2020」スタート

琉球銀行は、低金利の継続や好調に推移していた県内景況の失速懸念等、厳しさを増す経営環境を踏まえ、2020年4月より新たにスタートした新中期経営計画「SINKA 2020」では、「景況に左右されず、どんな時も地域を支え、地域の発展に寄与する真のリーディングバンクへ」を目指す姿として掲げました。

新中期経営計画「SINKA 2020」では、前回の中期経営計画「Customer Centric 2017」の流れを汲みつつ、預金、融資、為替・決済といった銀行本来のコア業務を「進化」させ、新たに取り組んできた銀行付随業務の「深化」を図り、琉球銀行グループ全従業員がチャレンジし続けることで当行グループが「SINKA」していくという思いが込められており、本計画に掲げた目標を達成することで、ステークホルダーの皆様の期待に応えてまいります。



「TSUBASAアライアンス」へ参加

琉球銀行は、2020年4月27日（月）、「TSUBASAアライアンス」に新たに参加しました。「TSUBASAアライアンス」は千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行の9行が加わっており、今回琉球銀行が参加することで10行の連携となり、北海道から沖縄まで全国を網羅するネットワークが形成されます。

「TSUBASAアライアンス」では2015年10月の発足以来、フィンテックや事務・システムの共同化、相続関連業務、国際業務、グループ会社の活用など、幅広い分野で連携施策を推し進めております。これら先進的な施策を琉球銀行に取り入れるとともに、各行のノウハウや知見を結集し、戦略的アライアンスを一層加速させていくことで、お客様により付加価値の高い金融サービスを提供してまいります。





FTB※タブレットシステムの導入

琉球銀行は、営業店業務改革に向けてFTBタブレットシステムを全店（ローンセンター除く）へ導入することとしました。FTBタブレットシステムは、普通預金口座開設など個人向け業務の一部をタブレット処理へ移行することで、お客様の記入負担軽減や待ち時間短縮によるサービスの向上を目指し、また、手続きを簡素化することでお客様とのコミュニケーション強化を図るシステムです。2019年10月より一部店舗にて試行を行い、想定通りの期待効果が得られたこと、およびお客様から一定のご評価をいただいたことから全店への導入を決定いたしました。

※FTBとはFlexible & Traditional Bank（柔軟性と伝統を兼ね備えた銀行）の略称で、システムは琉球銀行と日本アイ・ビー・エム株式会社が共同で開発しました。



健康経営優良法人の認定を取得

琉球銀行は、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2020」※の認定を取得しました。琉球銀行は、全職員へのウェアラブルデバイスの貸与やそれを利用したウォーキングイベントの実施により、職員の生活習慣の改善を支援しています。また、喫煙および受動喫煙による健康被害防止の観点から、卒煙支援としての禁煙外来自己負担分補助や卒煙報奨金の支給、就業時間内禁煙（MO! SWANデー）の実施等に取り組んでいます。

※「健康経営優良法人認定制度」とは、地域の健康問題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優れた健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。

